

に刈込労力費より低いことは論をまたない。これらの制約からゴルフ場においての利用は自から限定され、主として刈り込みに大きな労力を要するヘビーフ、機械器具による刈り込み困難な急坂等が対象となる。

しかし、これらの場所は必ずしも芝草の植生ばかりでなく、多くの雑草・小灌木も地被植物として利用されているところもあって、薬害により芝草は勿論のこと他の植生が枯死するようなものであってはならない。ただ、芝草が健全に生育し、他のものが枯死する場合は、このかぎりではない。

抑制剤は、十数年前にMH-30が試験されたが、効果的濃度では薬害が伴ない、あまり利用されなかったように思う。昭和45年から47年にかけてHZ-3456, CF-125, RH-531などが試験されたが、抑制効果に期待する数字は出なかった。最近では、サスターが昭和49年から52年まで3年間、また2008が51年か52年に試験されている。

前者の試験成績は、効果・薬害について、試験年次・試験場所において一致しないが、最終的に 0.3 cc/m^2 , 水 150 cc/m^2 , 5月初旬(平均気温 $15\sim 20^\circ\text{C}$)の処理で日本芝に対し抑制効果があると判定され、刈り取り回数を1~3回程度軽減している。ただし、薬害の発生は認められ、気温上昇とともに大きくなる。したがって、気温上昇とともに、薬量の減量、また使用場所も限定されてくる。後者の2008は、サスターより効果はやや劣るが、寒地型芝草には薬害もなく、効果が大きいと報告されている。法面の植生に寒地型芝草が利用されるケースも多く、このようなところには効果的であると思われる。使用量は、 1.5 g/m^2 , 水 150 cc/m^2 が標準である。両者とも展着剤が加用される。

ゴルフ場での抑制剤の使用は、さきにも述べたが、ラフ、バンカー周辺、樹木の下、あるいは歩径路サイド等に利用場面もあり、効果的と思われるが、薬害の伴なうことを考慮に入れなければならない。

昭和53年度牧野草地関係除草剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会技術部

昭和53年度委託試験は5薬剤(他に前年度から引き続き試験したもの1薬剤), 9場所であったが、検討会は開催を省略し、野本達郎専門

調査員および当協会事務局その他関係者と協議の上、これまでの経過を参考とし、次表のとりの判定となった。

牧野草地関係除草剤試験供試薬剤および判定表

昭和53年度

薬剤名 ○種類名 ●商品名	委託者名	剤型	有効成分および 含有率	新継 の別	試験実施 場所(数)	試験のねらい:処理方法; 処理時期;散布薬量等.	今回 判定	判定理由,内 容,その他
エプタム [○EPTC] ●エプタム 粒剤	エプタム普 及会 [トーメン] 日産化学	粒	S-エチルージノ ルマルチオカーバ メート 5.0%	新	北海道農 試, 北海 道立新得 畜試. (2)	飼料トウモロコシ圃場 における1年生雑草の防除 効果と薬害の有無: 400, 500, 600 g/a; 播種前	継?	効果不十分.

○種類名 薬剤名 ●商品名	委託者名	剤型	有効成分および 含有率	新継 の別	試験実施 場所(数)	試験のねらい:処理方法; 処理時期;散布薬量等.	今回 判定	判定理由, 内 容, その他
エプタム (つづき)	工業 [北海三共]					(雑草発生前):土壌処理.		
アラクロール +アトラジン [○アラクロール +アトラジン ●ラッソー +アトラジン]	ラッソー普 及会 [日本モン サント]	乳 水和	アラクロール: 2-クロール-2', 6'-ジエチル-N -(メトキシメチ ル)アセトアニリ ド 43.0 % アトラジン: 2-クロール-4- エチルアミノ-6 -イソプロピルア ミノ-1,3,5-トリ アジン 47.5 %	(継)	北海道農 試, 北海 道立北見 農試, 新 得畜試, 北海道農 務部農業 改良課 (現地). (4)	飼料トウモロコシ圃場 における1年生雑草の防除 効果と薬害の有無: アラクロール 20 25 30 c/a + + + + アトラジン 15, 15, 15 g/a 播種, 覆土後(雑草発 生前); 混用土壌処理.	実	地域: 北海道 内. アラク ロール 20~30 c/a, アトラ ジン15 g/aを 混用, 播種後 土壌処理.
LLC-01 [○リニユロン +アラクロール ●_____]	デュボンフ ァーイース ト日本支社	水和 乳	リニユロン: 3-(3,4-ジク ロルフエニル)- 1-メトキシ-1 -メチル尿素 50 % アラクロール: 2-クロール-2', 6'-ジエチル-N -(メトキシメチ ル)アセトアニリ ド 43 %	新	北海道農 試, 北海 道立北見 農試, 新 得畜試, 北海道農 務部農業 改良課 (現地). (4)	飼料トウモロコシ圃場 における1年生雑草の防除 効果と薬害の有無: リニユロン 15 15 g/a + + + + アラクロール 20, 30 c/a 播種後(雑草発生前); 混用土壌処理.	実	地域: 北海道 内. リニユ ロン15 g/a, ア ラクロール20 ~30 c/aを混 用, 播種後土 壌処理.
MCP・BAS (Na) [○MCP・ベン タゾン ●_____]	グラスジン 普及会 [日産化学 工業 石原産業]	液	MCP: 2-メチ ル-4-クロロフ ェノキシ酢酸ナ トリウム 6 % ベンタゾン: 3- イソプロピル-1H -2,1,3-ベンゾ チアジジン-(4) -3H-オン-2, 2-ジオキソド Na-ソルト 30 %	継	北海道立 根釧農試 天北農試 (天塩分 場). (2)	牧野草地内におけるカヤ ツリグサ科および一般広 葉1年生雑草に対する防 除効果および薬害: 25~ 100 ml/a; 雑草生育中; 全面茎葉処理.	継	草種の拡大, 処理時期につ いて検討を要 する.

○種類名 ●商品名	委託者名	剤型	有効成分および 含 有 率	新継 の別	試験実施 場所(数)	試験のねらい:処理方法; 処理時期;散布薬量等.	今回 判定	判定理由,内 容,その他
SSH-50 〔○24-PAア ンモニウム塩 ●_____〕	塩野義製薬	水溶	ジメチルアンモニ ウム-2,4-ジク ロルフェノキシア セテート 95%	新	北海道農 試, 北海 道立中央 農試, 北 見農試, (3)	イネ科単播草地内におけ る1年生広葉およびタン ポポに対する除草効果お よび薬害: 20, 40, 60 ml/a; 雑草生育盛期; 全 面茎葉処理.	継?	牧草に対して 薬害発生がみ とめられる.

昭和52～53年度

GW-7 〔○マレイン酸ヒ ドラジッド ●ヒロバトール〕	ヒロバトー ル研究会 〔三菱瓦斯 化学〕	液	マレイン酸ヒドラ ジッドコリン塩 58%	新	栃木酪試 静岡農試 (2)	牧野草地内のワルナスビ に対する防除効果および 牧草に対する薬害: 350, 500, 700 ml/a; 雑草生 育期; 茎葉処理. 春期着 蕾時散布, 5～7日後茎 葉部切除ならびに秋期生 育中散布.	継	試験年次不足. (効果再検討 を要す).
---------------------------------------	-------------------------------	---	----------------------------	---	---------------------	---	---	----------------------------

外国文献抄録

外国文献抄録の欄を、引き継ぐこととなった。天辰氏は、雑草専門誌から精確な紹介をされ、中山氏は、触れ難い資料について軽妙な文で抄録された。これからのことは考え中であって、集める資料の関係で一貫性を欠く憾みがあるかもしれない点は、お許しを頂きたい。

2.4.5-Tをめぐる毒性の問題

前々号(第13巻第5号)に、2.4.5-Tの毒性をめぐる紹介されているので、まずそれを受けて、この問題から入ることにしたい。

2.4.5-Tが、長い歴史を持ち、非農耕地用として、広く使われている除草剤であること、ベトナムにおける枯葉作戦で、Agent Orange

の名で用いられ、催奇性型の危被害を起したこと、2.4.5-Tに係る毒性が、実はTCDDで代表される有毒な不純物によるものであること、いまなお使用を認めてゆくのかどうかの論議が絶えないこと、などはすでに述べられている通りである。

EPA(The Environmental Protection Agency)は1970年から適用を、森林・牧野・鉄道用地に制限して、家庭や行楽地など